

1. 授業の概要(ねらい)

保育・幼児教育において、音楽は非常に大切な役割を担っている。音楽を通じて、子どもたちの感性を育て、表現力を引きだし、創造力を養うことができるよう、本講では1年次に習得した基礎的な音楽技能を高め、応用力の育成を目指す。授業の中心は実技活動である。

2. 授業の到達目標

保育・幼児教育の現場で求められる音楽技能の習得とその応用。具体的には、現場で必要とされるピアノ曲の演奏と子供の歌の弾き歌い、更には子どもの歌への簡易や伴奏付け(いろいろな調の課題)に取り組む。授業を通じて習得した音楽技能を活用できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

実技による定期試験を基本とする(50%)。その他、授業内における小テスト(10%)や取り組んだ曲数(30%)、課題の到達度(10%)も評価に含む。また、平常点も評価に加味する。

4. 教科書・参考文献

教科書

小林美実編 『続・こどものうた200』 チャイルド本社

5. 準備学修の内容

ピアノ実技および弾き歌いについては、授業時はもちろんのこと、授業外に地道な自己練習を行うようにしよう。とくに予習に力を入れることが大切である。

6. その他履修上の注意事項

実技等の活動への積極的な取り組みを期待する。毎月の必修曲(弾き歌い・ピアノ曲)を必ず終えることが大事である。さらに必修曲以外にできる限り多くの曲に取り組むことを期待する。各自で目標を定め、その目標に向かって努力することが重要である。

7. 授業内容

- 【第1回】 実技の上達のために・休み中の課題の発表をしよう
- 【第2回】 子どもの歌の弾き歌いと伴奏法①メジャー・コードと移調を学ぼう
- 【第3回】 子ども歌の弾き歌いと伴奏法② 二長調のコードの基本を学ぼう
- 【第4回】 子どもの歌の弾き歌いと伴奏法③マイナー・コード③ 二長調のコードの発展とマイナー・コードを知ろう
- 【第5回】 小テスト発表1回目 二長調のコードの弾き歌いを行おう
- 【第6回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化① ト長調のコードの基礎を学ぼう(1)シャープ系の調の仕組みを知ろう
- 【第7回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化② ト長調のコードの発展を知ろう(2)旋律とリズムに注意を向けよう
- 【第8回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化③ ヘ長調のコードの基礎を知ろう(1)フラット系の調の仕組みを知ろう
- 【第9回】 子どもの歌の弾き歌いと調の変化④ ヘ長調のコードの発展を知ろう(2)ヘ長調ばかりでなく、始まりがフラットとなる調に注意を向けよう
- 【第10回】 小テスト発表2回目 シャープ・フラット系の調を弾きこなそう
- 【第11回】 わらべうたの伴奏① 基本を押さえた伴奏法を学ぼう
- 【第12回】 わらべうたの伴奏② 基本を押さえ、それを発展させた伴奏法を学ぼう
- 【第13回】 子どもの歌の弾き歌い応用編① コードを応用して、自分で伴奏を書こう
- 【第14回】 子どもの歌の弾き歌い応用編② 自分で描いた伴奏を弾こう
- 【第15回】 オンライン授業(まとめ)